

第178号

令和2年1月31日

一般社団法人 大阪市学校歯科医会報



In Egypt (エジプト) 新世紀美術協会会員・日本美術家連盟会員 西川 肇

目 次

会長挨拶	3
第7回 歯・口の健康づくり研修会	4
第7回 歯・口の健康づくり研修会 アンケート（抜粋）	6
新支部長就任挨拶	7
第43回 近畿北陸地区学校歯科医会（学校歯科部）連絡協議会	8
第83回 全国学校歯科保健研究大会	10
第83回 全国学校歯科保健研究大会 ポスター発表	11
令和元年度 全国学校保健・安全研究大会	13
第69回 全国学校歯科医協議会	13
令和元年度 全国学校保健・安全研究大会に参加して	14
第69回 全国学校歯科医協議会に参加して	15
令和元年度 第2回 支部長会	16
歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語 コンクール	17
一般社団法人 日本学校歯科医会 第98回 臨時総会日程	20
令和元年度 学校歯科保健連絡協議会	21
令和元年度 大阪二学歯連絡協議会	24
令和元年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会	25
令和元年度 マウスガード講習会	27
社会見学会 あべのタスカル	29
社会見学会に参加して	30
令和元年度 子どもの歯を守る懇談会 日程	31
令和元年度 慶びに輝く先生方	32
会務報告	33
学校歯科保健教材器具貸出 申込書	
お知らせ / 市学歯ホームページ更新情報 / 編集後記	
表紙の題字 渚 紀代司 元副会長	

会長挨拶



一般社団法人大阪市学校歯科医会 会長 西本 達哉

立春の候、会員の先生方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素より会務運営に格別のご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。私が前会長岡本卓士先生の後任の会長に就任して、はや半年が過ぎました。あっという間の半年でしたが、毎月の理事会に始まり、様々な事業も何とか理事の先生方と事務局のONE TEAMで乗り越えてきたと思います。

会長就任以来、2冊目の会報発行となりますが、今回も盛り沢山の内容となっております。前号で書かせていただいた「第7回歯・口の健康づくり研修会」と「社会見学会」の様子は、この会報に写真入りの記事で載っておりますので、ぜひご覧になって下さい。写真は市学歯のホームページにも多数掲載し、研修会の資料などもダウンロードできるようにしておりますので、ホームページも見ていただけたら嬉しいです。(大阪市学校歯科医会、で検索して下さい。)

来る2月13日(木)には第60回大阪市学校歯科保健研究大会が開催されます。第一部表彰式、第二部の学校歯科保健研究協議会となっておりますが、第二部では、長崎県佐世保市立広田小学校教諭福田泰三先生にご講演をしていただく予定です。福田先生は沖縄で開催された第82回全国学校歯科保健研究大会でシンポジストとして発表され、講演を聞いた市学歯から参加した理事の、ぜひ大阪市でも会員の先生や養護教諭に聞いて欲しいとの希望により、お願いした次第です。興味深いお話が聞けることと思いますので、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

その研究大会冊子にも書かせていただきましたが、今回の研究大会は60回の節目を迎えます。昭和35年度(1960年度)に始まった第1回大阪市よい歯の学校児童生徒表彰大会がそのスタートになります。当時は児童生徒個人が表彰されていたようです。この年に全日本学校歯科保健優良校表彰も始まり、こちらも今年度第60回を迎えています。2年後の昭和37年度(1962年度)から始まった大阪市学校歯科医大会と、昭和58年度(1983年度)に合体してひとつの大会となり、現在に至っていることも、私は初めて知りました。定期健康診断基準の改訂や日本学校歯科医会の事業や学習指導要領の改訂などに伴って、大阪市の変化する学校歯科保健の取組にも当時の執行部がその都度対応されてきたことに改めて敬意を表したいと思います。

令和2年も会員の先生方のご支援とご協力を賜りながら、大阪市の学校歯科保健を更に充実し発展させていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

◆ 第7回 歯・口の健康づくり研修会 ◆

大阪市の養護教員の先生方を対象にした第7回歯・口の健康づくり研修会が、3年ぶりに夏休み中の8月22日に、大阪府歯科医師会館の大ホールで開催されました。137名の先生方が参加して下さったことで従来とは方法を変更しました。前半は実習ワークシートを活用し、講義形式でレクチャーをしながら座学での体験学習をしました。休憩を挟んでグループでの体験学習を行いました。時間が足りなくなり「みんなでお口の筋トレ」のうち、③ゲーム（輪ゴム送りゲーム等）は残念ながら実施できませんでしたが、盛り沢山の指導内容を最後まで熱心に受講していただきました。体験学習で使用した実習記録記入用紙などの当日配布資料を市学歯のHPからダウンロードできるようにしておりますのでご活用下さい。

日 時 令和元年8月22日(木) 午後2時～5時

場 所 大阪府歯科医師会館 大ホール

主 催 一般社団法人大阪市学校歯科医会・大阪市教育委員会

協 賛 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所・一般財団法人サンスター財団
株式会社スマートプラクティスジャパン

日 程	司 会	専務理事	羽 生 卓 也
1. 開会挨拶	大阪市学校歯科医会	副 会 長	長 崎 三 男
2. 会長挨拶	大阪市学校歯科医会	会 長	西 本 達 哉
3. 進行説明・資料確認	大阪市学校歯科医会	専務理事	羽 生 卓 也
4. 研 修			
(1) 講演	大阪市学校歯科医会	常務理事	林 昭 典
(2) 座学での体験学習			

※ 講義形式でレクチャーをしながら実験体験をしますので、実習ワークシートをご活用ください。



①経口補水液について

大阪市学校歯科医会 学術部員 豊田 裕章

②咀嚼・口腔機能について

大阪市学校歯科医会 常務理事 川上 力

③大型模型の使用方法・歯みがき・フロスについて

公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 歯科衛生士 青木 有沙

④フッ化物洗口について

一般財団法人サンスター財団 歯科衛生士 小田 美里

⑤マウスガードについて

株式会社スマートプラクティスジャパン 技工士 宇治野 大雅



(3) 器具の取り扱い説明等 大阪市学校歯科医会 常務理事 林 昭典

(4) グループでの体験学習

- ①位相差顕微鏡、見る菌 ②糖度・濃度計・pH計 ③かみかみセンサー
④健口くん ⑤フッ化物のたまご実験 ⑥咬合力測定 ⑦口唇閉鎖力測定
⑧歯みがき圧測定

※ ①②③④⑤は、映像のみの説明になります。

各コーナーで⑤以外の体験は可能ですが、各グループの代表のみとさせていただきます。

※ ⑥⑦⑧は、各担当スタッフが器具を回し、体験のサポートをします。

実習ワークシートをご利用ください。

※ 実習体験の無い時間は、展示、実験器具の見学及び体験や各グループでお悩み解決?!スキルアップシート（例：1人の悩みに他の4人が回答）の作成をしてください。

(5) みんなでお口の筋トレ

- ①ピロピロの紹介
②あいうべ体操（スライド）体験
③ゲーム（輪ゴム送りゲーム等）

5. 市教委挨拶 大阪市教育委員会 課長代理 松田 大

6. 閉会挨拶 大阪市学校歯科医会 副会長 美島 達平

第7回 歯・口の健康づくり研修会 アンケート(抜粋)

【勤務先、経験年数】

良かった点

- ・様々な体験学習ができて、楽しみながらの研修ができて良かったです。【幼稚園 5年未満】
- ・歯と口の健康づくりについて、様々な方法があることを知りました。発達段階に応じて指導方法が異なるため、幅広く学べて良かったです。学校で、児童にあった指導方法を見つけて伝えていきたいと思います。【小学校 5年未満】
- ・器具の体験が盛りだくさんで、とてもありがたかったです。たくさんの準備が企画の変更で、すごく大変だったと思います。お疲れさまでした。ありがとうございます。【中学校 5年未満】
- ・「歯の健康について」アクティブ・ラーニングで実際に器具を見たり、使用してみたりできて良い体験になりました。【高等学校 21年以上】

良くなかった点

- ・内容が盛りだくさんだったのは、とても良かったのですが、そのために少し慌ただしいように感じました。【小学校 5年未満】
- ・一つひとつの講義をもっとゆっくり話を聞きたかったです。【小学校 5年～10年】
- ・人数が多く、体験コーナーの時間が少なく充分ではなかったのも、もう少しゆとりがほしかったです。【小学校 21年以上】
- ・忙しかった点があります。でも150名受け入れてくださって、ありがとうございました。【小学校 21年以上】
- ・参加人数が多くて、大変でご苦労されたと思います。時間の調整が難しかったのではないかと思います。【中学校 21年以上】

活用したい内容

- ・子どもたちへの指導にも活用したいが、保護者への啓発にとってもよいと感じたので、活用できたらと思いました。【幼稚園 11年～20年】
- ・学期に1回の集団保健指導や学校保健委員会などで、児童だけでなく、教職員や保護者にも向けて活用していきたいと思います。【小学校 21年以上】
- ・中学校で2学期に「歯と口の健康教室」を行う予定になっているので、今回教えていただいたことを踏まえて実施していきたいです。【中学校 5年未満】
- ・今日いただいた情報をもとに「保健だより」や「掲示物」を作成したいです。【高等学校 5年～10年】

今後の希望

- ・体験型は、やはり見るだけ聞くだけとは違い、自分の実感として残るものがあるので、今回の研修は大変良いと思いました。【小学校 5年未満】
- ・PowerPointの資料もいただけたら嬉しいです。【小学校 5年未満】
- ・体験学習、子どもたちにさせてやりたいなと思いつつ、大規模校なので難しいかなと思いました。また、考えます。ありがとうございます。【小学校 11年～20年】
- ・学校で指導する際、やはり物品の予算の確保がむずかしいです。そんなこともサポートして頂ければありがたいです。【中学校 21年以上】
- ・ご準備とても大変だと思いますが、今後も定期的実施していただけたらありがたいです。新任養護教諭がここ数年で急増しているのでぜひ、よろしくお願いします。【中学校 21年以上】

新支部長就任挨拶

この度、西本達哉先生に代わり天王寺区支部長に就任いたしました佐藤充男です。これまで、市学歯会長に就任された西本会長に、支部のことも全てやっていただいております、お任せ状態でした。今後は他の会員の先生と一丸となり、ワンチームで乗り切っていきたいと思っております。

さて、天王寺区は大阪市でも数少ない人口増加の地区です。また、私立学校も多く文教地区でもあり、保護者の教育への関心も高いです。私たちも、保護者、学校、幼稚園、行政と一体となって、歯科への関心を高め、児童、生徒のより良い成長に関与していきたいと思っております。

西本会長、曾我監事も在籍されている支部なので、ご指導いただきながら会務を進めていきたいと思っております。



佐藤 充男
(天王寺区支部長)

平成31年4月より藤野康徳先生に代わり淀川区学校歯科医会の支部長に就任させていただきました。淀川区学校歯科医会は27校園の学校歯科医に、歯みがき指導、フッ化物塗布、学校検診、その他多数の行事に参画し精力的に活動をしていただいております。

私の担当している小学校は平成2年に就任した折には1500人の生徒が在籍していましたが、いまは平均各学年2クラスと、少子化の波をうけています。地域によっては増加している地域もあり、マンションの老朽化や、新築マンションの建設などにより生徒の人数は変化していくものと考えられます。私たちは、常に研鑽をし、これからも様々な変化に柔軟に対応し、地域の学校歯科保健活動に貢献していく所存です。皆様のご支援とご鞭撻をよろしくお願いいたします。



伊藤 公人
(淀川区支部長)

— 第43回 近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会 —

令和元年度近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会は和歌山県学校歯科医師会主催で和歌山市にて開催されました。2つの報告、3つの協議題と13の情報交換が提出されてそれらに対する活発な協議が行われました。



日学歯からは川本会長、長沼専務が参加されて、協議題や情報交換に対して日学歯のコメントをいただきました。大阪市から提出した協議題は藤野副会長が、また2つの情報交換は長崎副会長と美島副会長が主旨説明を行いました。この協議会で得た日学歯の見解や、各団体の情報を参考にして、今後の市学歯の運営に活かしていきたいと思います。

日 時 令和元年8月31日(土) 午後2時～
場 所 ホテルアバローム紀の国 4階 「羽衣の間」
日 程

1. 開 会 の 辞

2. 当 番 県 挨 拶 和歌山県学校歯科医会 会 長 中 西 孝 紀

3. 来 賓 挨 拶 日本学校歯科医会 会 長 川 本 強

4. 来 賓 紹 介 日本学校歯科医会 会 長 川 本 強

日本学校歯科医会 専務理事 長 沼 善 美

和歌山県教育委員会 教 育 長 宮 崎 泉

和歌山県教育委員会 健康体育課長 森 文 哉

5. 出 席 者 紹 介 ※当会からの出席者 西本会長(大阪府学校歯科連合会 副会長として参加)・長崎副会長・美島副会長・藤野副会長・羽生専務・川上常務・林常務

6. 座長・副座長選出 座 長 和歌山県学校歯科医会 副会長 井 内 洋

副座長 大阪府歯科医師会 副会長 片 岡 宏 之

7. 報 告

(1) 令和元年度学校歯科医研修会について 【滋賀県歯科医師会】

(2) 「食育について」教材作成 【滋賀県歯科医師会】

8. 協 議

(1) 歯科健康診断のIT化について 【大阪府学校歯科医会】

- (2) DMFT指数調査で未処置歯を多く検出した学校への対応

【大阪市学校歯科医会】

※主旨説明は藤野副会長が担当しました。

- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツデンティスト」

養成事業の希望者推薦

【兵庫県歯科医師会】

9. 情報交換

- (1) 学校歯科健診時における口腔機能発達不全症の評価について

【大阪府学校歯科医会】

- (2) 中学校、高等学校における保健教育、口腔衛生指導について

【大阪府学校歯科医会】

- (3) アクティブラーニングを実践するためのグループワークについて

【大阪市学校歯科医会】

※主旨説明は長崎副会長が担当しました。

- (4) 学校歯科医退任の際の学校長の役目

【大阪市学校歯科医会】

※主旨説明は美島副会長が担当しました。

- (5) 行政が行う学校歯科保健に関わる推進事業について

【福井県歯科医師会】

- (6) 学校給食における危機管理について

【奈良県歯科医師会】

- (7) 歯を守る図画・ポスター・標語コンクールについて

【奈良県歯科医師会】

- (8) 昨年の協議題「口腔機能発達不全症について」の事業報告

【兵庫県歯科医師会】

- (9) 通信制高校の学校歯科医の校医報酬について

【兵庫県歯科医師会】

- (10) 学校歯科医および養護教諭など学校関係者に対しての

学校歯科保健教材の貸し出しとその情報提供について

【富山県歯科医師会】

- (11) 学校歯科健康診断時の器具の滅菌について

【京都府歯科医師会】

- (12) 学校健康診断時のグローブの使用について

【石川県歯科医師会】

- (13) 薬物乱用防止教室への参加について

【和歌山県学校歯科医会】

10. その他

11. 次期当番挨拶

大阪府歯科医師会 副会長 片岡 宏之

12. 閉会の辞

第83回 全国学校歯科保健研究大会

主催 文部科学省・日本学校歯科医会・日本学校保健会・山口県歯科医師会・山口県・山口県教育委員会・山口市・山口市教育委員会

期日 令和元年10月17日（木）・18日（金）

場所 山口市市民会館・ホテルかめ福

主題 「生き抜く力」をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して
～学校歯科保健活動の拓く新たな時代～

参加者 西本 達哉・川上 力・林 昭典・讚井 茂行
吉松 昌之・曾我 時雄



日程（1日目）

開会式・表彰式 13：00～14：00

ポスター発表 13：00～18：00

※弊会は「大阪市の歯科検診の現状」の演題でポスター発表を行いました。

開会式・表彰式 14：15～15：35

演題 「教育に科学的根拠を」

講師 慶応義塾大学総合政策学部 教授 中室 牧子

シンポジウム 15：50～18：00

「学習指導要領改訂に伴う学校歯科保健における主体的・対話的で深い学びの実現」

座長 齋藤 秀子 齋藤 秀子 齋藤 秀子 齋藤 秀子 齋藤 秀子

基調講演 大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座 予防歯科学 教授 齋藤 秀子 齋藤 秀子 齋藤 秀子 齋藤 秀子 齋藤 秀子

シンポジスト 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官 藤野 敦 藤野 敦 藤野 敦 藤野 敦 藤野 敦

シンポジスト 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校 主任養護教諭 横嶋 剛 横嶋 剛 横嶋 剛 横嶋 剛 横嶋 剛

シンポジスト 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校 主任養護教諭 花松 亜由 花松 亜由 花松 亜由 花松 亜由 花松 亜由

懇親会 山口県歯科医師会 会長 小山 茂 小山 茂 小山 茂 小山 茂 小山 茂

懇親会 19：00～ ホテルかめ福

日程（2日目）

I. 領域別研究協議会 9：15～10：45

1. 幼稚園・認定こども園・保育所部会 朝日大学歯学部小児歯科学講座 教授 飯村 沼 光 生

座長 下関国際高等学校附属幼稚園 園長 岩木 瀨本 直茂 二美成

発表者 大阪市立玉出幼稚園 園長 岩木 瀨本 直茂 二美成

アドバイザー 神奈川歯科大学小児歯科学分野 教授 飯村 沼 光 生

2. 小学校部 会長 鶴見大学歯学部小児歯科学講座 主任教授 朝田 芳 信

発表者① 山口市立良城小学校 養護教諭 平河 村 眞 美

発表者② 山口市立良城小学校 養護教諭 中河 村 好 恵

発表者① 萩市立白水小学校 養護教諭 菅川 塚 沼 貴 子

発表者② 駒ヶ根市立赤穂南小学校 養護教諭 菅川 塚 沼 貴 子

アドバイザー 駒ヶ根市立赤穂南小学校 学校歯科医 菅川 塚 沼 貴 子

3. 中学校部 会長 東京歯科大学解剖学講座 教授 阿部 伸 一

発表者 下松市立末武中学校 校長 厚楠 東 和 彦

発表者 阿久根市立三笠中学校 養護教諭 厚楠 東 和 彦

発表者 九州大学大学院歯学研究院 口腔予防分野 教授 阿部 伸 和 政

アドバイザー 九州大学大学院歯学研究院 口腔予防分野 教授 阿部 伸 和 政

4. 高等学校部 会長 大阪歯科大学口腔衛生学講座 准教授 片岡 宏 介

発表者 山口県立小野田高等学校 養護教諭 山柳 根 貴 子

発表者 香川県立高松西高等学校 養護教諭 山柳 根 貴 子

発表者 東北大学大学院歯学研究科・歯学部 准教授 山柳 根 貴 子

アドバイザー 東北大学大学院歯学研究科・歯学部 准教授 山柳 根 貴 子

II. ポスター発表・表彰式

III. 閉会式

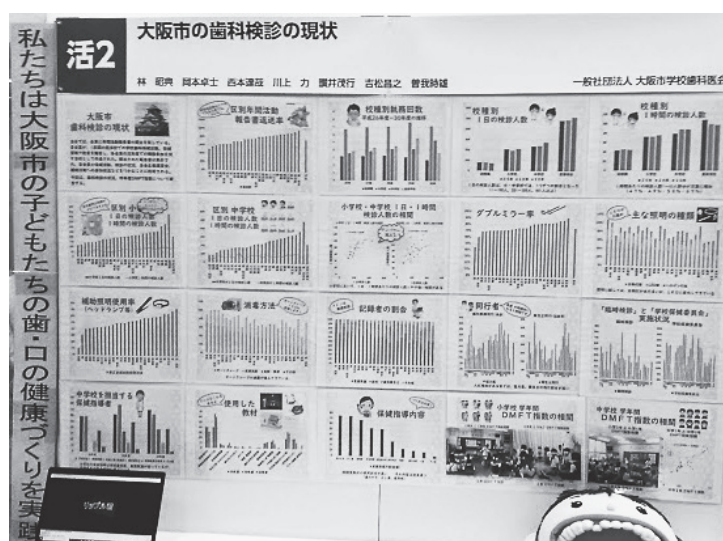
第83回 全国学校歯科保健研究大会 ポスター発表

大阪市学校歯科医会は山口市民会館で開催されました全国学校歯科保健研究大会においてポスター発表を行いました。

会員からの年間活動報告書を基に作成した色々なグラフを校種別、各区分に表示するという地味なポスターでしたが、多くの方々がじっくり見られていました。発表の演題・要旨は以下の通りです。

【ポスター発表内容】

1. 演 題 「大阪市の歯科検診の現状」
2. 発表者 林昭典・岡本卓士・西本達哉・川上力・讃井茂行・吉松昌之・曾我時雄



※ポスター発表内容は第60回大阪市学校歯科保健研究大会冊子に掲載いたします。

今年は昨年に引き続き活動部門7つ、調査研究部門7つのポスター発表の中から大会関係者・出席者の投票による優秀ポスターの表彰が行われ、各部門の最優秀表彰、審査員特別賞が授与されました。

3. 発表抄録 当会では、会員に年間活動報告書の提出を促している。この報告書は会員が、担当校での学校歯科保健の各種活動を報告し積極参加を促す目的で作成された。提出された物は日頃の歯科保健活動、検診、講習会、親睦会参加など動向把握する目的で使われる。現在の検診実態、DMFT指数(昨年度)を把握する必要があると考え、集計し報告する。

年間活動報告書は、ほぼ全数調査に近く、27年度分に関し会員数459名、28年度において457名、29年度は450名で30年度は460名から回答があった。平均80%で信頼性の高い調査である。

校種別執務回数 幼稚園が比較的少ないが、園児数が少ないので検診は1回で終わる幼稚園が70%にもなる。執務したのが検診の1回のみ園医が5名もいたが、会として保健教

育活動の活性化を園医に求めている。

区別小学校の検診人数において阿倍野区が飛び抜けて多いが、その原因は阿倍野区内の全校児童1200名の小学校と750名の小学校で1日で検診をするように要請され、校医以外に4名の同行歯科医師とで検診した学校があるためである。

1日検診生徒数・1時間検診人数 小学校では比較的正の相関を示しているが中学校では相関が無いように見える。この原因は、小学校は比較的規模が小さい学校が多く、一定のマンパワーで、検診ができていると思われる。また中学校においては規模が大きくなるにつれて、同行歯科医師の割合が多くなり、慣れない先生や検診判定基準に揺らぎが起こるので、相関関係の違いが現れてくると考察する。

ダブルミラー 会員には、事あるたびに「ダブルミラー化推進」に、校長に協力していただくよう進言するように指導し、長年の双方の努力によりダブルミラー率が高くなってきたように思われる。

照明器具について 今だに白熱灯、ハロゲン灯が多い。LEDに移行するように会員に促しているが、学校運営において優先順位の高い物品から逐次購入となる。

補助照明率 ヘッドランプ等を使用して検診精度を上げようと各学校歯科医は工夫努力している。ヘッドランプは自前でということになるが、地区によっては地区の学校歯科医会で購入しているところもある。

消毒方法も改善していくように会員から校長に進言するように指導している。ダブルミラーを使い絶対に口腔内に手指を入れないで検診するように、各会員に注意喚起している。

記録者の割合 理想は担任先生に記入してもらい、各生徒の状況を一番身近に知ってもらいたいと思っている。学校歯科医、養護教諭、担当教諭、学校全体で「口腔内の状態は子どもたちの生活習慣をレコードするもの」だということを広く認識してもらいたい。

学校カリキュラムスケジュール、不測の事態等で1日検診で対応せざるを得ない必要性が出てくる。その場合、同行の歯科医師、歯科衛生士の費用は学校歯科医側が負担している。大規模校の多い人口増加区に多い傾向があり、学校側、学校歯科医側ともに時間的、人的負担となっている。

臨時検診と学校保健委員会の実施状況等では熱心な学校ほど臨時健康診断・学校保健委員会などの取組が多い。

視聴覚教材が言葉だけでなく、大勢が手軽に映像を通して学べることから受け入れられている。大阪市教育委員会、大阪市学校歯科医会ではこれらの器具を貸し出す体制を整えている。これら教材の使い方を説明する養護教諭対象の研修会も昨夏に開催し、保健教育のアクティブラーニング化を推進するように働きかけている。

保健指導内容 「歯みがき」「むし歯」「歯周病」が多いが、これからは口腔機能と全身との関わりについての重要性を教育していく方針である。またこの研修会において、お口の機能訓練、トレーニングについても触れた。

小学校の学年間のDMFT指数 全数調査で、平成30年度小学校において10万9,886人、中学校において4万8,503人である。大阪市では2年・4年・6年で歯科健康教育のイベントがある。このイベントが奇数学年にどのような影響があるのか考察した。3年と5年が比較的相関している。小学5年と中学1年とのDMFT指数の相関はないが、その原因は検診をする担当学校歯科医が代わったからと考えられる。中学では、1年の時に「歯と口の健康づくり」を開催しており、この時期永久歯列が完成して安定的な時期に入るのできれいな相関を示したと考えられる。

令和元年度 全国学校保健・安全研究大会

主 題 生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進
～主体的に健康課題の解決に取り組み未来を拓く子供の育成～

主 催 文部科学省、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、(公財)日本学校保健会、
埼玉県学校保健会

期 日 令和元年11月21日(木)・22日(金)

会 場 ソニックシティ(埼玉県さいたま市大宮区)

内 容 (1) 全体会

- ・開会式
- ・表彰式

大阪市からは墨江小学校の東邦裕校長と
当会の長崎三男副会長が文部科学大臣表彰を受けられました。

- ・記念講演

講演内容 「子供のインターネット利用と健康」

講 師 埼玉大学 教育学部 教 授 戸部 秀之

(2) 課題別研究協議会 第5課題 歯と口の健康づくり

①神奈川県立茅ヶ崎養護学校 総括教諭 一瀬 恵理

②栃木県宇都宮市立鬼怒中学校 養護教諭 棚原 梨紗

③埼玉県羽生市立新郷第二小学校 養護教諭 熊木 和美

・講 師 日本学校歯科医会 副会長 柘植 紳平

・指導助言者 愛知県立瀬戸高等学校 校 長 丸山 洋生



第69回 全国学校歯科医協議会

日 時 令和元年11月21日(木) 15時30分

会 場 パレスホテル大宮 3階 チェリールーム

- ・開 会 式
- ・文部科学大臣表彰受賞者の紹介
- ・講 演 「マウスガードの有効性とより安全性の高いマウスガード」

東京歯科大学 口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室教授 武田 友孝

- ・シンポジウム 「マウスガードをより広く普及させるには」

座 長 埼玉県歯科医師会前常務理事・学校歯科部長 齋藤 秀子

シンポジスト 東京歯科大学 口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室教授 武田 友孝

立正大学ラグビー部監督 堀越 正己

- ・懇 親 会 パレスホテル大宮 4階 ローズルーム



令和元年度 全国学校保健・安全研究大会に参加して

常務理事 上田 裕彦

・全体会

開会式に続き、表彰式では学校保健と学校安全の功労者に対して表彰が行われた。大阪市からは、墨江小学校の東 邦裕校長と当会副会長の長崎 三男先生が受賞された。

・記念講演

「子供のインターネット利用と健康」

埼玉大学 教授 戸部 秀之

すでに多くの児童生徒がインターネットを利用しているが、忘れてならないのはインターネットの利用には「光」と「影」があることだ。埼玉県学校保健会では以前から各種メディアの使用について調査を行い、県内に広く警鐘を鳴らしてきた。平成29年度には、児童生徒のインターネットの利用実態や健康・安全との関連、および保護者の意識等について調査を行った。そして、調査の結果を検証し次のように提言を行った。

- * 児童生徒のインターネット利用の実態について理解を深める。
- * インターネット依存傾向に着目して、多様な問題発生を予防する。
- * 発達段階に応じたルールづくりや親子での話し合いを推進する。
- * 生徒の意識・実態を踏まえた集団・個別の保健指導につなげる。
- * 家庭における子供のICT機器利用の実態について理解を深める。
- * 将来の問題発生の可能性を踏まえ、年少児へのICT機器の与え方を考える。



・課題別研究協議会 第5課題の歯と口の健康づくり

・講義

一般社団法人日本学校歯科医会 副会長 柘植 紳平

「健康は歯から口から笑顔から」

～令和の時代に求められる歯・口の健康づくりの進め方～

改訂学習指導要領が令和2年から小学校で、令和3年から中学校で実施される。今回の改訂の方向性が「新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実」であることをきちんと理解することが重要である。

学びにおいて、特に「どのように学ぶか」について「主体的、対話的で深い学び」を重視して、「健康は大切だと考え、必要な知識・技能を身に付け、習慣化し、自己管理と定期的専門管理を自ら行うことによって、生涯にわたって健康を保持増進できる資質・能力」を育成することである。

①神奈川県立茅ヶ崎養護学校

総括教諭 一瀬 恵理

「児童生徒の自立に向けた口腔ケア・摂食指導のための教職員研修と児童生徒実態把握の試み」～推進事業1年目の取組～

歯・口の健康や口腔ケアに関して多様な課題を持つ児童生徒が在籍していることから、学校歯科医や関係機関と連携し、保護者を交えた様々な取り組みを進めてきた。歯科健診前の事前指導やBGM、アロマ等の使用で緊張感を緩和する環境づくりに努めている。

教職員の世代交代が進み、若い教職員や特別支援学校での経験年数が少ない教職員が増加している。専門知識や指導方法、家庭への支援方法等を継承していくことが課題となっている。

②栃木県宇都宮市立鬼怒中学校

養護教諭 棚原 梨紗

「自ら健康な生活を実践できる生徒の育成」～歯・口の健康づくりを通して～

学年進行に伴いCO、GO、Gの割合が増加する傾向に着目し、生徒の口腔衛生に対する意

識の改善を目指して教育活動を展開した。

全教員を授業研究部、研究推進部、評価部の三つに分けて開始した。授業研究部では、歯・口に関連する教材を洗い出し、系統性と関連性に着目して小中9年間の題材を整理し、指導計画を作成した。研究推進部では、生徒保健委員会を活用して健康な歯肉と歯肉炎の模型を作成し触ることができる教材を展示した。評価部では、「健康な歯模範生徒」を表彰するなど、興味・関心・意欲の喚起を図った。さらに、保健だより、学校HP、掲示板を工夫し、関心を高められるようにした。

③埼玉県羽生市立新郷第二小学校

養護教諭 熊木 和美

「生涯にわたり、自分で自分の健康を守ることができる児童の育成を目指して」～学校・家庭・地域・関係機関との連携・協働を通して～

生涯にわたる歯科保健活動を積極的に推進し、市立小中学校の取組は毎年県学校歯科保健コンクールで高い評価を受けている。

学級活動として歯科衛生士による「1年生親子歯みがき教室」、担任と学校歯科医による6年生を対象とした「よくかむことの大切さ」をテーマにした授業を実施している。歯と口の健康週間には「歯みがき名人」を表彰することで、意欲喚起を図っている。また、毎日の「歯みがきタイム」を評価する「歯みがきかがやき賞」、「歯みがき音楽」の工夫、「クラス対抗歯みがきグランプリ」、「目と口の体操」、毎月第三水曜日に全校で染め出し検査を行う「マイ歯ッピーチェック」など多彩な活動をしている。

さらに、児童が市内在住の8020達成者を訪ねて留意点をインタビューするなど地域と連携した取組、歯科保健に関心の低い家庭への働きかけにも取り組んでいる。

第69回 全国学校歯科医協議会に参加して

常務理事 上田 裕彦

開会式において、文部科学大臣表彰の受賞者が紹介された後、講演が行われた。

・講演

「マウスガードの有効性とより安全性の高いマウスガード」

東京歯科大学 口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室教授 武田 友孝

マウスガードの顎口腔系障害への予防・軽減効果は、実験的、疫学的に立証され、スポーツ関係者のマウスガードへの認知度は高まり、その普及も進んでいる。しかし、マウスガード装着時の外傷が少なくないこと、咬合関係の適切でないマウスガード使用によるデメリットがあることも事実である。バキュームタイプやラミネートタイプのカスタムメイドのマウスガードはその効果が高いが、コンタクトスポーツにおける選手の大型化やブレーススタイルの変化などにより、通常のマウスガードでは防ぎきれない外傷もあるようだ。そこで、より安全性の高いマウスガードの開発、普及が望まれる。その一つとして、改良型一枚法マウスガード（EVA材使用）がある。これは、前歯部開咬などで、通常の一枚法では前歯部の安全に不可欠な閉口時の前歯部の接触が付与できない場合に有効だ。また、より積極的に上顎中切歯、補綴歯、外傷既往歯などを保護することを目的に、ハードアンドスペースタイプのマウスガードがある。これは、2枚のEVA材の間にアクリルやPET材の硬性材を入れることで、衝撃力を広く分散し、より安全性を高め、またマウスガードの内面と頬側歯面との間に0.5から1.0mmの緩衝スペースを設けたものだ。このタイプのマウスガードの普及を拡大すべく、製作を容易にし、かつ安全性を担保した光重合タイプの硬性材を開発してきたので紹介する。本日の講演が、生徒、学生、スポーツ選手、国民の外傷の軽減・予防に役立てれば幸いである。



— 令和元年度 第2回 支部長会 —

日 時 令和元年10月26日(土) 午後1時30分～3時
場 所 大阪府歯科医師会館 第6会議室

開会のことば
会長挨拶
役員・支部長紹介
会務報告
報告事項

副会長 美 島 達 平
会 長 西 本 達 哉

1. 令和元年度定時総会
2. 日本学校歯科医会 第97回定時総会
日本学校歯科医会 第98回臨時総会
3. 第7回歯・口の健康づくり研修会
4. 社会見学会「あべのタスカル」開催報告
5. 大阪市学校保健会 常任理事・理事会／定時総会
6. 第43回近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会
7. 第41回近畿学校保健連絡協議会
8. 第1回大阪府学校歯科連合会理事会
9. 「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」
並びに「歯・口の健康啓発標語コンクール」
審査会 9／5 展示 11／8～11／20
10. 「子どもの歯を守る懇談会」開催について
11. 第58回全日本学校歯科保健優良校表彰 審査結果
12. 令和元年度 第60回 大阪市学校歯科保健研究大会
13. 市学歯会報 第178号掲載内容について
14. 平成30年度年間活動報告書 会員の記載事項
15. 中学校「歯・口の健康づくり」実施内容
16. フッ化物洗口導入による今後の保健指導について
17. 就学時健康診断票変更について
18. その他
 - ・令和元年・2年度「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」中間報告
 - ・会員研修会について
 - ・マウスガード講習会について

専務理事 羽 生 卓 也
監 事 西 川 肇
副会長 藤 野 康 徳
常務理事 林 昭 典
常務理事 柳 田 和 彦
常務理事 河 野 好 昭
副会長 藤 野 康 徳
会 長 西 本 達 哉
副会長 美 島 達 平

専務理事 羽 生 卓 也
常務理事 林 昭 典
専務理事 羽 生 卓 也
専務理事 羽 生 卓 也
専務理事 羽 生 卓 也
常務理事 川 上 力
副会長 藤 野 康 徳
会 長 西 本 達 哉
会 長 西 本 達 哉

監 事 西 川 肇
常務理事 讚 井 茂 行
常務理事 讚 井 茂 行
副会長 藤 野 康 徳

閉会のことば

■ 歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語 コンクール ■

令和元年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール」審査会を下記の日程で行いました。

日時：令和元年9月5日（木） 午後2時～

場所：大阪市役所 地下1階 第4会議室

出席者：一般社団法人 大阪市学校歯科医会

大阪市教育委員会事務局 指導部 初等教育担当

大阪市教育委員会事務局 指導部 教育活動支援担当

大阪市教育センター 教育振興担当

● 図画・ポスター

応募枚数406枚（幼稚園5枚、小学校349枚、中学校：47枚、高等学校：5枚）より入賞作品49枚（幼稚園1枚、小学校39枚、中学校9枚）を選出しました。入賞作品のうち、小学校低学年、小学校高学年、中学校、高等学校から最も優れた作品4点を選出し、一般社団法人日本学校歯科医会主催の中央審査会に大阪市の代表作品として推薦しました。次に優れた作品5点を大阪市学校歯科医会会長賞とし、今回は特別賞1点も含め、応募者全員に参加賞を贈呈しました。

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕

小学校（低学年の部）代表

開平小学校 3年生 西村 公利生さん

小学校（高学年の部）代表

市岡小学校 6年生 小野 颯生さん

中学校代表

高津中学校 2年生 赤尾 玲さん

高等学校代表

工芸高等学校 1年生 仲辻 小桜さん

〔大阪市学校歯科医会会長賞〕

幼稚園代表

菅南幼稚園 5歳児 有川 光さん

小学校（低学年の部）代表

関目東小学校 2年生 浅野 志歩さん

小学校（高学年の部）代表

桃陽小学校 6年生 川勝 心さん

中学校代表

都島中学校 3年生 東谷 夏希さん

高等学校代表

工芸高等学校 2年生 上田 愛さん

〔大阪市学校歯科医会特別賞〕

今里小学校 6年生 藤田 莉奈さん

● 標語

応募総数84点（小学校：49点、中学校：35点）のうち、次の1点を最優秀作品とし、大阪市代表として日本学校歯科医会への推薦作品として選出しました。

「歯と心 どちらもみがいて ほら笑顔」

歌島小学校 5年生 大川 結衣さん

次に優れた作品4点を大阪市入選作品として選出しました。

「老後へと 元気につながる 歯の健康」

城東中学校 1年生 南 直輝さん

「つかみとる 丈夫なからだを 歯みがきで」

茨田中学校 1年生 大谷 蒼空さん

「歯みがきで あふれる笑顔 すてきだね」

矢田西中学校 3年生 農本 愛香里さん

「きれいな歯 百年いっしょの あいぼうだ」

鯉江東小学校 5年生 藤田 昊希さん

代表作品の図画・ポスター、標語は大阪市学校歯科医会ホームページで紹介するとともに、入賞作品を含めて下記の要項で展示しました。

展示期間：令和元年11月8日（金）～20日（水）

展示場所：大阪市立中央図書館

エントランスギャラリー

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕



開平小学校 西村 公利生



高津中学校 赤尾 玲



工芸高等学校 仲辻 小桜

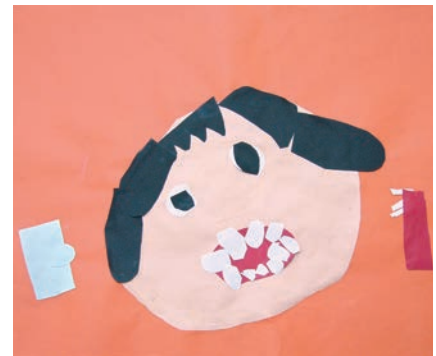


市岡小学校 小野 颯生

〔大阪市学校歯科医会 会長賞〕



桃陽小学校 川勝 心



菅南幼稚園 有川 光



工芸高等学校 上田 愛



都島中学校 東谷 夏希



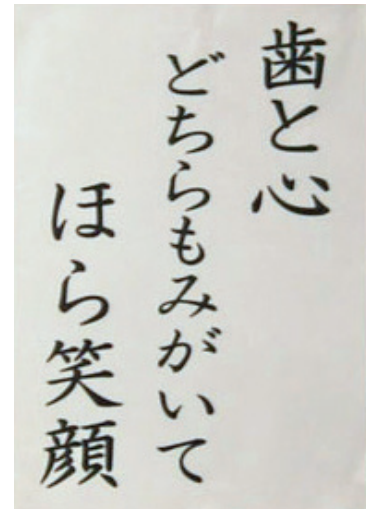
関目東小学校 浅野 志歩

〔大阪市学校歯科医会 特別賞〕



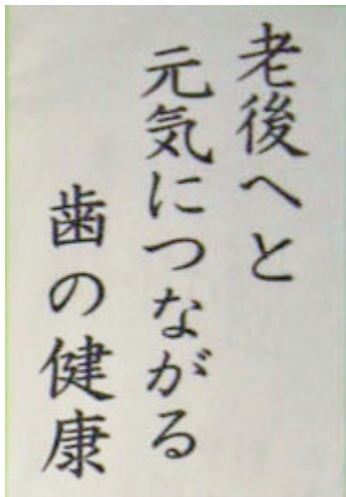
今里小学校 藤田 莉奈

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕

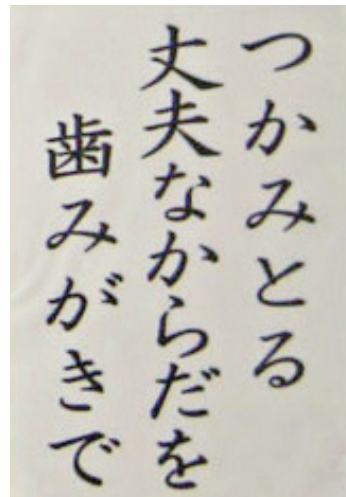


歌島小学校 大川 結衣

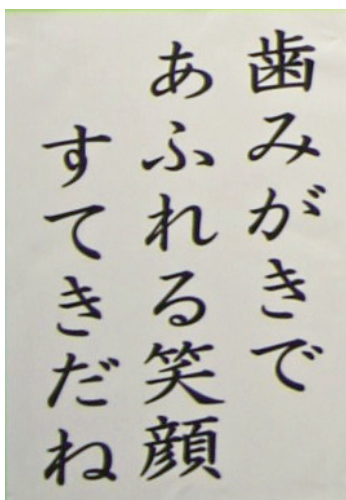
〔大阪市学校歯科医会会長賞〕



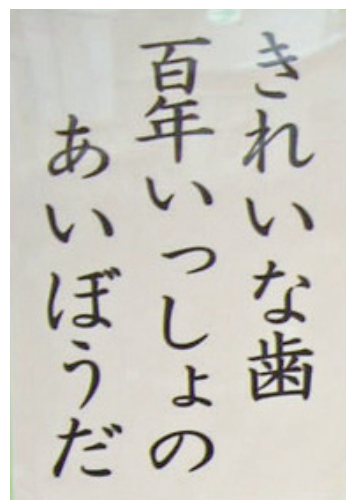
城東中学校 南 直輝



茨田中学校 大谷 蒼空



矢田西中学校 農本 愛香里



鯉江東小学校 藤田 昊希

■ 一般社団法人日本学校歯科医会 第98回 臨時総会日程 ■

日 時 令和元年10月2日（水）午後1時30分～午後3時30分
 場 所 T K P 市ヶ谷4 F ホール4 A



- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1. 開 会 の 辞 | 副 会 長 齋 藤 秀 子 |
| 2. 挨 拶 | 会 長 川 本 強 |
| 3. 来 賓 挨 拶 | |
| | 日本歯科医師会 会 長 堀 憲 郎 |
| | 日本歯科医師連盟 理 事 長 浦 田 健 二 |
| 4. 黙 禱 | |
| 5. 仮 議 長 の 選 出 | |
| 6. 議 事 録 署 名 人 指 名 | 栃 木 県 宮 下 均
長 崎 県 洪 谷 雅 史 |
| 7. 議 事 | |
| 第1号議案 総会議長・副議長の選出の件 | |
| 第2号議案 予算決算特別委員会委員の選出の件 | |
| 第3号議案 議事運営特別委員会委員の選出の件 | |
| 8. 報 告 | |
| 1) 委員会報告 | 専務理事 長 沼 善 美 |
| 2) 会務現況報告 | 常務理事 澤 田 章 司 |
| 3) 会計現況報告 | 常務理事 阿 部 直 樹 |
| 9. 協 議 | |
| 10. そ の 他 | |
| 11. 閉 会 の 辞 | 副 会 長 柘 植 紳 平 |

令和元年度 学校歯科保健連絡協議会

日時 令和元年10月31日(木) 午後3時～5時
 場所 ホテルアウイーナ大阪 3階 葛城の間
 出席者 校 園 長 部 会 保 健 教 育 部 会
 保 健 主 事 部 会 養 護 教 員 部 会
 大阪府歯科衛生士会 大阪 市 教 育 委 員 会
 大阪市子ども青少年局 ライオン歯科衛生研究所
 サンスター株式会社 大阪 市 学 校 歯 科 医 会



日 程
 司 会 専務理事 羽 生 卓 也
 開 会 挨 拶 副 会 長 長 崎 三 男
 会 長 挨 拶 会 長 西 本 達 哉
 市 教 委 挨 拶 課 長 代 理 松 田 大

出席者紹介
 協議内容

1. 講演報告「外傷時の対応および予防～マウスガードの役割～」

講 師 理 事 吉 松 昌 之



2. 歯科保健事業について

①幼稚園「歯みがき指導」と「保護者教室」について

大阪市子ども青少年局 幼稚園運営企画担当係長 田島 亮 様

幼稚園歯みがき指導については幼児期から歯の健康に関して正しく理解させる事を目的に、令和元年度は市立26園、園児・保護者計2636名を対象に大阪府歯科衛生士会様の協力の下、6月～9月に実施。具体的には園児に紙芝居や歯ブラシによる指導を30分、保護者に講話と質疑応答を60分行ないました。



養護教員部会 滝川幼稚園 養護教諭 山本 珠美先生

大阪市の幼稚園では年間指導計画に則した歯みがき指導を昼食後に行ないます。まず、歯みがきの意味から始め、歯ブラシの持ち方、動かし方、みがく方法や注意点等、順に担任と協同で指導します。更に隔年毎に市教委の歯科衛生士さんの指導も受け、保護者も含め楽しく学んでいます。他に保護者向けに園歯科医の講話も実施しております。



大阪府歯科衛生士会 幼稚園チーフ 家田 優子 様

令和元年度は5月28日～9月4日にかけて、幼児期から歯の健康に関心を持たせ、正しいブラッシング法や食習慣にまで及ぶ歯みがき指導を当会衛生士7名で担当致しました。保護者教室では日常生活において正しい歯科衛生習慣を実践出来るように指導しています。



②小学校での保健指導について

- 2年生「低学年歯みがき指導」
- 4年生「フッ化物塗布と歯みがき指導」
- 6年生「歯と口の健康教室」

大阪市教育委員会 担当係長 平中 早苗 様

令和元年度は2年生、6年生の保健指導が申込み率100%を達成。私事ですが、これは今年度で退職する私には大きな喜びです。これもひとえに教職員、歯科衛生士会、学校歯科医会、以上諸先生方のご尽力の賜物と御礼申し上げます。個人的には児童一人ひとりの口腔内を見て本人に直接指導できた事、さらにその子の問題点を養教の先生に指摘し、共有できた事も良かった。また、児童の以前の検診結果と今回指導時の口腔内の変化から、生活態度の乱れ等に気付く事もでき、歯科の立場から児童の生活指導にも関与可能だと思えます。他にも児童の歯や口の健康増進の為、細かな事も取り入れています。今後も歯科保健事業をより良いものにする為に努力を続けていきたい。



校園長部会 榎本小学校 校長 今井 美之先生

現在の大阪市小学校歯科保健事業について。まず毎年実施される継続性、100%またはそれに近い実施率、児童の心身の安心・安全に繋がる学習にも適した楽しい内容。これらは学校教育の中でも大事なポイントであり、子供たちが自分の健康について自ら学び、考える大切な場になっている。今後もこの取組が継続されることを望みます。



校園長部会 墨江小学校 校長 東 邦裕先生

最近の児童の歯科検診について。むし歯の多い子と少ない子に分かれる傾向がある。まさに両極端で中間が無い。むし歯は基本的な生活習慣に起因するものと考えられるので家庭訪問を行い、家庭と連携して対応している。また、外傷予防の為にグラウンドを球技用とそれ以外に分けている。



校園長部会 新森小路小学校 校長 仲村 顕臣先生

歯の健康に対する取組みについて。継続的に指導していただいているのが、とても良いと思う。寿命も伸びているので、8020運動も今の児童の頃には10020運動となっているかも知れない。やはり、継続性が大事だと思う。また、歯科衛生士さんには様々な発達状態や環境の子どもにも等しく指導いただいて、有難いと思っております。



校園長部会 湯里小学校 校長 小島 美幸先生

小学校歯科保健指導について。先程のお話にもありましたが、指導時に一人ひとりに声掛けをして頂いて、どこがみがき足りないのか、今後どうすればいいのか子供たちに分かりやすく説明し、担任にも保護者にどのように言うべきかアドバイスをいただいております。吉松先生のマウスガードのお話も、また子供たちに分かりやすく話してみたいと思っております。



保健主事部会 四貫島小学校 臼井 康祐先生

先日、6年生の「歯と口の健康教室」を子供たちと一緒に受けさせていただきました。分かりやすく、とても良い内容でした。マウスガードですが、自分はキックボクシングをしているので、それは必須です。やはり顔面への打撃は怖いもので非常に危険です。本日はマウスガードの大切さを再認識しました。



養護教員部会 会長 海老江西小学校 養護教諭 森川 真理先生

“子どもの歯を守る懇談会”は学校・市教委・市学歯の3者が上手く連携を図って、1日で、しかも保護者まで参加して実施されています。本当に感動的な素晴らしい企画で、私たち養護教員部会もこれを柱にして学校歯科保健計画を立てていきたいと思っております。



大阪府歯科衛生士会 小学校2年生チーフ 大倉 孝子 様

2年生・低学年歯みがき指導は例年8月末から始まり、翌年3月まで続きます。今後も児童の皆さんがこの歯みがき指導を通じて笑顔になり、生きる力を育むことができるようにメンバー一同、努力していきたいと思っております。



大阪府歯科衛生士会 会長 橋場 佳子 様

私達は大阪府全域で歯科口腔衛生の仕事に携わっていますが、大阪市の子供たちは義務教育期間中、最低でも3回～4回は歯科保健教育を受けることができます。しかし、他の大阪府下地域に於きましては、それは当たり前ではなく、1回も歯や口の健康教育を専門家から受ける機会のない子供たちも居る訳です。当市の学校歯科保健教育は素晴らしいものです。今後とも是非続けていただきたいと思います。



一般社団法人サンスター財団 予防事業部 欄 倫明 様

昨今は大阪市の児童・生徒さんの歯や歯肉についての理解度が深まっているように感じております。本市学校歯科保健関係の方々の熱意の賜物かと存じます。また、最近是一般の歯科医院や家庭用のフッ化物の使用量が増えてきております。この傾向は東京都でもみられると聞いております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



③「中学校 歯・口の健康づくり」実施状況

大阪市学校歯科医会 常務理事 上田 裕彦

昨年度（平成30年度）の実施108校。当年度は6月に大阪北部地震、9月に台風21号と関西は大きな災害に見舞われました。その影響で当事業も中止25校を数えました。当事業内容につきましては当会広報誌をご参照下さい。



校園長部会 堀江中学校 校長 山本 裕康先生

生徒の幼稚園、小学校を通して培われた健康に関する高い意識、生活習慣が、中学生の意識・生活の中にしっかりと位置付けられているようで感謝しております。マウスガードにつきましても、これから中学生にとって必要になってくる一つのアイテムなのかなと思っております。



養護教員部会 矢田中学校 養護教諭 村上 博美先生

義務教育の最終課程である中学校では自分の健康を100年間守る実践力を身に付けるべきである。ただ現実には厳しく、本校では健康課題が山積している状況である。例えば歯科検診後の受診率は33%、1年生DMFT指数は1.64、2年生2.12、3年生2.16で大阪市平均値を押し下げており、恐縮しております。そんな中で学校歯科医の先生が大変熱意を持って指導して下さるので助かっております。今後とも先生方の強い後押しを期待しております。



大阪市教育委員会 指導主事 西木 澄江先生

来年度から小学校、再来年度から中学校でも実施される新学習指導要領ですが、この度新設された一文があります。“教育課程の編成・実施にあたっては学校保健計画等、各分野における学校の全体計画と関連付けながら効果的な指導が行われるように留意すること”というもので、これを踏まえて学校保健計画を練り直して市教委へご提出下さい。



④子どもの歯を守る懇談会について

大阪市学校歯科医会 常務理事 讃井 茂行

先日、行いました築港小学校について簡単にご報告します。当小学校では“歯の日”を定めて全学年がそれぞれ当懇談会や学校保健委員発表会、歯みがき大会など歯にまつわる行事を同時に一斉に行います。学校歯科保健活動に熱心で、全国歯科保健大会の優良校表彰・奨励賞にも輝きました。



大阪市学校歯科医会 常務理事 柳田 和彦

当懇談会では毎年恒例のように大正東中学校へ行って講話をします。むし歯や歯周病の話をクリック形式でしたり、聞き手を飽きさせないように工夫しています。最後に自分の歯を健康に保つ為に出来る事を考えて貰います。



⑤「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」鯉江東小学校 進捗状況について

大阪市学校歯科医会 監事 西川 肇

この事業は対象校の歯科保健上の問題点に対して改善計画を策定、それを実際に約2年間かけて実行し、来年2月の大阪市学校保健研究大会で結果を発表する大掛かりなものである。当校の問題点は検診後の低い受診率、歯みがきに対する低い意識、噛む事の重要性に対する低い認識。改善計画は歯や口の健康意識アンケート調査を年2回、給食後の歯みがき、食後のうがい、あいうべ体操の実施、保健指導、健康便りの発行、幼稚園・高校との連携、歯と口の健康に関わる全校集会、検診後の受診の奨励、生活指導における校内安全指導、口唇圧・咬合力測定、学校保健委員会の開催。是非、実際の発表をご聴講下さい。



養護教員部会 工芸高等学校 養護教諭 濱中 栄理子先生

高校における歯と口の健康授業では予防歯科分野は難しい。また、問題点はまず検診の効率化で、例えば700名余りの生徒を2名の検診医が1日半掛かって検診するが、照明やプライバシー保護等なおざりにせざるを得ない状況である。さらに別の問題点として検診後の受診率の低さがある。いろいろと手を尽くして受診を促すが、痛みが無ければ行かない生徒が多い。ただ、昨年度から1人ずつ呼び出して話をすると、少しずつ受診率が上がってきたのでこれを続けたい。



3. 「平成30年度学校歯科検診状況」と「今年度の学校歯科検診」について

大阪市学校歯科医会 常務理事 河野 好昭

ダブルミラー率は88%、照明器具は、未だに白熱灯が最も多いがLEDに替えていくべきである。記録者は養護教員が最多。滅菌器具は高価だが高圧蒸気滅菌器（オートクレーブ）が望ましい。検診人数に関しては各校の状況に鑑み、学校・市教委・検診医がよく話し合っただけで日程等の調整、検診医数等、互いに無理のない検診計画を立てるべきである。



4. その他

・ライオン歯科衛生研究所「全国小学生歯みがき大会」について

ライオン歯科衛生研究所 保健研究部 部長 関根 宏明 様

40分のDVDを用いて歯と口の健康教育の一環として学校で学べる教材。今年度は全国で4255校、対象学年5年生24万人(22%)の参加。大阪市からは94校。デンタルフロスやフッ化物、歯科医院でのプロケアまで解説。



・サンスター株式会社からのお知らせ

サンスター株式会社 歯科営業部 小田 美里 様

フッ化物洗口について。フッ素は自然の元素で土や空気、水、植物等にも含まれている。食品ではイワシ、海藻、牛肉等に入っている。フッ化物の歯質に対する効果は、歯質強化・再石灰化促進・耐酸性向上。年齢を問わず有効。



・第60回大阪市学校歯科保健研究大会の予告

大阪市学校歯科医会 専務理事 羽生 卓也

令和2年2月13日(木) 午後2時～5時 大阪府歯科医師会館・大ホール
大阪市よい歯の学校・幼稚園表彰 全日本学校歯科保健優良校感謝状授与
講演「子どもが元気になる健康食育」佐世保市立広田小学校 福田泰三先生



・DMFT指数調査について

大阪市学校歯科医会 副会長 長崎 三男

当指数は右肩下がりの傾向が続いていたが、最近数年間に限っては若干の下げ止まりがみられる。特に平成30年度は0.75で全国平均の0.73を上回る悪い数値である。原因は幾つか考えられるが、当会としても危機感を持たざるを得ない。因みに名古屋市0.53、東京都0.69。そのために、大阪市の二極化した生徒のハイリスク・グループへの学校歯科医、教職員と行政を交えたアプローチが必要と考えている。



・令和元年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター」並びに「歯・口の健康啓発標語コンクール」について

大阪市学校歯科医会 常務理事 上田 裕彦

今年度「大阪市代表4作品」、「会長賞5作品+特別賞」、「標語代表1作品+入選4作品」。大阪市立中央図書館で展示。

閉会 挨拶

副会長 美島 達平



✳ 令和元年度 大阪二学歯連絡協議会 ✳

市学歯と府学歯の情報交換会である二学歯連絡協議会は、11月9日(土)に開催されました。

来賓として大阪府歯科医師会より片岡宏之副会長にご臨席を賜りました。挨拶では、令和2年度近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会が大阪府担当なので『市学歯と府学歯が力を合わせて頑張りたい』と言われてました。今回事務局も大阪府歯科医師会、市学歯、府学歯から参加しました。日学歯理事をされている府学歯 水谷成彦副会長から日学歯の最新情勢について説明後、市学歯と府学歯からは3題ずつ議題が提出されてそれに関する活発な情報交換が行われました。



日 時 令和元年 11月9日(土) 午後6時より
場 所 ザ・ランドマークスクエア大阪(大阪城内)
日 程 司 会

開 会 の 辞
会 長 挨 拶

来 賓 挨 拶
出 席 者 紹 介

大阪府学校歯科医会	専務理事	上 田 直	克
大阪府学校歯科医会	副 会 長	吉 川 伸	純
大阪府学校歯科医会	会 長	田 幡 本	達
大阪市学校歯科医会	副 会 長	西 片 本	達
大阪府歯科医師会	副 会 長	片 岡 端	宏
大阪府歯科医師会	副 会 長	片 岡 端	竜
大阪府歯科医師会	事 務 局	東 端 竜	之
大阪府学校歯科医会	会 長	田 幡 純	伸
大阪府学校歯科医会	副 会 長	吉 川 伸	彦
大阪府学校歯科医会	副 会 長	水 谷 成	建
大阪府学校歯科医会	副 会 長	青 木 建	直
大阪府学校歯科医会	専務理事	上 田 直	宗
大阪府学校歯科医会	専務理事	奥 田 永	孝
大阪府学校歯科医会	専務理事	松 福 元	義
大阪府学校歯科医会	専務理事	福 元 島	巴
大阪府学校歯科医会	専務理事	岩 本 圭	泉
大阪府学校歯科医会	専務理事	金 本 均	司
大阪府学校歯科医会	事 務 局	清 水 香	均
大阪市学校歯科医会	会 長	西 本 達	哉
大阪市学校歯科医会	副 会 長	美 島 達	平
大阪市学校歯科医会	副 会 長	藤 野 康	徳
大阪市学校歯科医会	専務理事	羽 生 卓	也
大阪市学校歯科医会	常務理事	川 上 力	昭
大阪市学校歯科医会	常務理事	河 野 好	彦
大阪市学校歯科医会	常務理事	上 田 裕	彦
大阪市学校歯科医会	常務理事	柳 田 和	彦
大阪市学校歯科医会	常務理事	讃 井 茂	行
大阪市学校歯科医会	理 事	長谷川 昌	徳
大阪市学校歯科医会	事 務 局	伊牟田 裕	加

報告・日本学校歯科医会からの報告
議事・意見・情報交換

報告者 府学歯 副 会 長 水 谷 成 彦

令和2年度近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会について
大阪府学校歯科医会から提出の情報交換

- ・府学歯学術講演会について(R1.11.30)
- ・第63回大阪府学校歯科保健研究大会について(R1.12.5)
- ・広報委員会報告(近北地区学校歯科医会連絡協議会報告)

大阪市学校歯科医会から提出の情報交換

- ・第7回歯・口の健康づくり研修会(R1.8.22)
- ・第60回大阪市学校歯科保健研究大会(R2.2.13)
- ・市学歯会員研修会(R1.12.7)

閉 会 の 辞
懇 親 会

大阪府学校歯科医会 副 会 長 青 木 建 雄

会議終了後

◆ 令和元年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会 ◆



大阪歯科大学100周年記念館にて大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室仲野和彦教授をお招きして会員研修会を開催しました。下記の演題を2時間にわたり昨今話題になっている事柄を交えて講演して頂きました。

日 時	令和元年12月7日(土) 午後3時～午後5時
場 所	大阪歯科大学 創立100周年記念館 3階301中講義室
講 師	大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室仲野和彦教授
演 題	学校歯科医の先生方にお伝えしたい小児歯科領域のトピックス
資 料	<ul style="list-style-type: none">・福岡県で発生した歯科治療後の2歳児の死亡事故について・小児におけるラバーダム防湿法の使用について・日本小児歯科学会における身体拘束下での歯科治療に関する基本的考え方・感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン

講演内容

1. 小児におけるう蝕と歯周疾患

う蝕の始まりはミュータンス菌の伝播から／う蝕に対する治療計画／急性症状がある時に抑制して処置するか／無麻酔下での処置は／咬傷への注意喚起／う蝕に起因する顔面の腫脹／幼若永久歯へのう蝕治療／卒乳時期とう蝕／イオン飲料とう蝕／歯周疾患への対応／小児歯科領域の歯周疾患／全身疾患関連歯周炎／低ホスファターゼ症HPPの診断指針／HPPにおける乳歯早期脱落／早期発見する意義／阪大病院における現況

2. 小児における歯列咬合

3歳児健診における不正咬合の判定基準／幼児期の歯列咬合の治療／吸指癖へのアプローチ／機能性交叉咬合／機能性交叉咬合の治療と症例

3. 小児における歯の外傷

初診時に注意すべきこと／歯の外傷症例／永久歯の陥入に対しては／乳歯・永久歯の再植について／固定時期の目安について／後続永久歯に現れる後遺症／乳歯義歯／歯ブラシによる外傷

4. 虐待の早期発見につながる口腔所見

子ども虐待対応防止ガイドライン／児童虐待を疑うケース／児童虐待早期発見の取扱い手順／被虐待児の口腔状態／診断用アセスメントシート／日本子ども虐待防止歯科研究会

5. 乳歯・永久歯の萌出調査

日本小児歯科学会による約30年ぶりの調査／各乳歯の萌出月齢／前回調査との比較／日本人乳歯の標準萌出時期／今回の調査結果に関するコメント／各永久歯の萌出月齢／前回調査との比較／日本人永久歯の標準萌出時期／今回の調査結果に関するコメント

6. 口腔機能発達不全症

口腔機能発達不全症の取材／口腔機能発達不全症／口腔機能発達不全症の加算と算定要件／小児口腔機能管理加算／口腔機能に関する問診票／具体的な症例／子ども達の歯科医療増進のためのよきパートナーとして

(日本子ども虐待防止歯科研究大会が令和2年11月に大阪で開催予定です。)



令和元年度 マウスガード講習会

理事 吉松 昌之

ラグビーワールドカップが大盛況のうちに終わりいよいよ2020東京オリンピック、パラリンピックに国民の興味が盛り上がってまいりました。今回、学校現場における安全管理と安全指導、教育（マウスガード普及啓発を含む）に役立てていただけるよう、マウスガード講習会を開催することとなりました。

開催日時

令和元年12月14日(土)午後2時～5時

場所

一般社団法人大阪府歯科医師会
附属歯科衛生士専門学校 実習室

講師

大阪大学歯学部研究科特任教授
前田 芳信 教授

町 博之 先生
権田 知也 先生
金澤 歩 先生

講習会内容

最新スポーツ歯学のトピックス、マウスガードの効果などに関する講演

ご自身で使っていただけるマウスガード製作実習

参考図書

マウスガードの製作ガイド（永末書店）

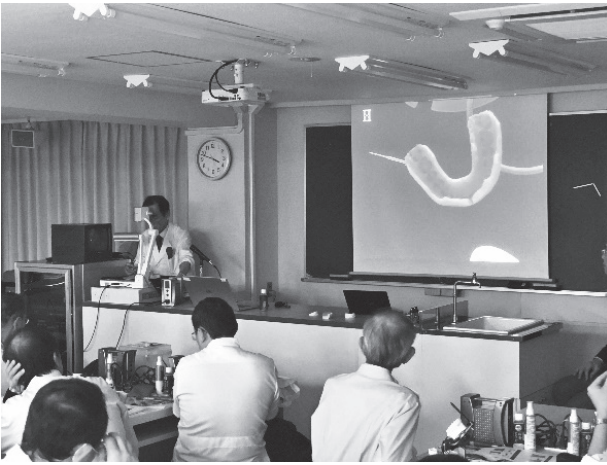


羽生専務理事司会のもと西本会長挨拶の後、前田教授によるマウスガードに関する最新情報の講義が始まった。

実習中に自身で使うマウスガードを完成させる事を目標に実習が始まった。受講生の用意した自身の上顎模型についての注意事項説明の後、模型へのマウスガードシート圧接が行われた。



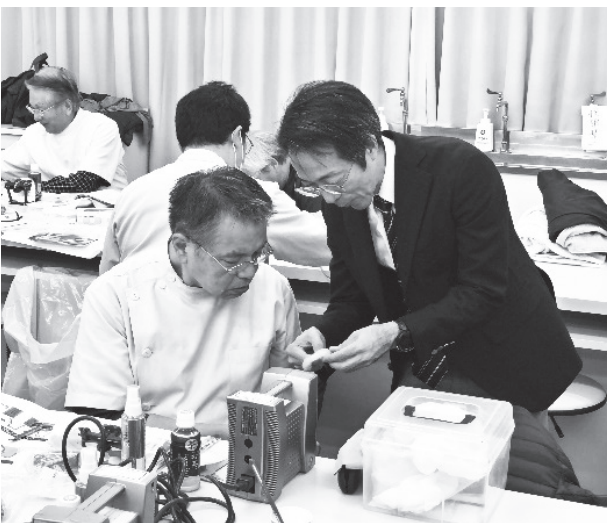
最新のバキュームフォーマーを使いシート圧接が行われた。機械の特徴、使用方法など業者担当者（株式会社スマートプラクティスジャパン、株式会社松風）より説明を受けた。



町先生による実習が始まった。手元がスクリーンに映し出されよく見える状態で作成における細かい注意点の指導が行われた。



実習中は講師の先生方が各テーブルをまわり、受講者の質問に答えてくれた。



町先生よりマウスガードの辺縁の処理について詳しく説明を受けている様子。



前田教授よりエンジンのハンドリングのコツについて指導を受ける様子。

マウスガードの形が完成した後、各自用意した、咬合器についた模型に装着し咬合調整が行われた。

完成したマウスガードを装着し、「い・あ・う」の発音確認、違和感のないこと等確認し、実習は終了した。



3時間にわたる講義、実習が終わり受講者に修了書が授与された。今回の講習会は一般社団法人日本スポーツ歯科医学会認定マウスガード講習会として開催された。最後に美島副会長より講師の先生方への謝辞で締めくくりマウスガード講習会は終了した。

社会見学会 あべのタスカル



日 時 令和元年9月14日（土） 午後3時～
場 所 大阪市立阿倍野防災センター

阿倍野防災センターは、これまでの展示内容を最新の技術を用いて一新し、体験型災害学習施設「あべのタスカル」として平成31年4月にリニューアルしました。新しくなった防災センターにおきまして、「災害は必ずやってくる。助かる力、助ける力を学ぶ。」というスローガンのもと、自分の住む地域の特性に応じた災害危険を認識することができ、今後起こるであろう大災害の備えとして体験学習しました。

見学の後、あべのハルカス「京都北山ダイニング」にて懇親会を開催し盛況のうちに終えることができました。

今回の参加者数は60名で、次回も多数の会員の参加をお待ちしております。



社会見学会に参加して

富本 昌之
(港区支部)

台風15号による強風被害が連日報道される中、大阪市学校歯科医会が9月14日残暑厳しい折り、大阪市立阿倍野防災センター（愛称 あべのタスカル）で社会見学会を開催した。当日は我々以外にもたくさんのグループが訪れて、大人から子どもまで大変な賑わいであった。昨年大阪北部地震と台風21号の被害でなんとなく大阪に蔓延していた「大阪は自然災害がよけてくれる」という迷信はいつまでも続かないことを思い知った。初めの解説ではマグニチュード8クラスの南海トラフ巨大地震は100年から150年間隔で発生しており、前回の昭和南海地震から75年が経過していることから、いつ発生してもおかしくないことがわかった。津波だけではなく集中豪雨によって淀川と大和川が氾濫した場合の洪水被害もある。自分の家や診療所のある場所のリスクがどのように想定されているか、誰もが気になると思うが、モニターに表示して確認することができた。大阪市の大部分は海拔が低く浸水のリスクがあり、

上町台地は直下に活断層があり、大阪に住み続けるならどこも似たり寄ったりなんやと納得した。

火災による煙からの逃れ方、煙は上に向かって移動するので体を低くして一酸化炭素を多く含む煙を吸い込まないようにする。漏電による火災を防ぐための配電盤の注意、自宅から避難する場合ブレーカーは必ず切る。停電が回復した後、再通電する時、漏電している場所を判定できるようにブレーカーを戻していく。ガラスの破片でケガをしないようにいつも枕元には運動靴を置いておくこと。がれきの中での救助の方法、応急手当の実習、そして震度7強の体験マシンでの「ほんまにこんな揺れんの？」という体験など盛り沢山な内容で「よくてける施設やなぁ」と感じた。天災は忘れた頃にやって来る、忙しい日常だからこそ防災の意識を失わないために時々このような企画が必要だと感じた一日であった。

中野 宏治
(生野区支部)

体験型防災学習施設「あべのタスカル」は、南海・東南海地震や南海トラフ巨大地震などの大災害に備えるため、自分の住む地域の特性に応じた災害危険を確認することで、自分に必要な知識や技術を選択し、体験を通じて学ぶことができる施設です。（パンフより抜粋）

13のブースに分かれている当施設の中で最初に通された「タスカルシアター」。タスカルと言いながらストーリーとしては助からないのですが、今の自分であればほぼほぼ助からない事実をいきなり突き付けられます。その反省を基に助かること、助

けることを実習していくのです。

歯科医師である我々は災害時に於いて様々な活躍が期待されます。不幸にも亡くなられた方の身元確認、被災者の方々の口腔内保健管理等。それができるのも助かってなんぼの話。先ずは一人ひとりが助かなければなりません。

自然災害は誰もものすぐ身近に存在するもの。その自覚を安住の地「大阪」で持続すること。難しいことですが、それが助かる近道であることを再認識するに至る貴重な時間でした。

令和元年度 子どもの歯を守る懇談会 日程

区	校園名	実施日	内 容	学校園歯科医	講 師
大正	大正東中学校 内田京菜先生	令和元年6月21日(金) 13時30分～14時20分	むし歯予防／ブラッシング ／歯肉炎・歯周病予防	鳥羽 史郎	柳田 和彦
講演会(保護者教室)					
港	築港小学校 藤田真理子先生	令和元年7月4日(木) 13時45分～14時30分		金田 一弘	讃井 茂行
保健委員会／その他					
中央東	中央高等学校 井上真由美先生・古川真莉絵先生	令和元年10月17日(木) 15時25分～16時25分	むし歯予防／咬合と歯並 び／歯肉炎・歯周病予防／ 食生活と食育／ブラッシ ング／喫煙との関連	柴田 啓子	上田 裕彦
講演会 (保護者教室)					
西成	梅南中学校 高橋晴香先生	令和元年10月30日(水) 13時25分～15時15分		韓 哲三	美島 達平
歯と口の健康教室					
港	市岡東中学校 小川香津子先生・鈴木清也先生	令和元年10月30日(水) 14時20分～15時10分	むし歯予防／咬合と歯並 び／歯の外傷／歯肉炎・歯 周病予防／食生活と食育 ／ブラッシング／喫煙と の関連／その他	田崎 恵司	讃井 茂行
講演会(保護者教室)					
天王寺	桃陽小学校 大谷敦子先生	令和元年11月7日(木) 14時45分～15時30分	むし歯予防／咬合と歯並 び／歯肉炎・歯周病予防	川本 雅行	西本 達哉
学校保健委員会 テーマ『よくかんで食べよう』					
都島	都島小学校 岡田佐和子先生	令和元年11月21日(木) 13時45分～15時30分	むし歯予防／咬合と歯並 び／ブラッシング／歯肉 炎・歯周病予防／食生活と 食育／その他	澤井 宏之	梅本 匡
学校保健委員会					
東住吉	白鷺中学校 中井千景先生	令和元年12月19日(木) 13時30分～14時40分	歯肉炎・歯周病／食生活と 食育／／ブラッシング／ その他	岡田 充泰	弘田 和彦
保健委員会＋防災・ALT (防災に関わる生徒自主活動) その他:災害時の口腔衛生について					
生野	生野工業高等学校 中川 雅子先生	令和2年1月21日(火) 15時30分～16時00分	むし歯を放置するとどう なるか／むし歯治療につ いて	津田 重信	羽生 卓也
講演会					



令和元年度 慶びに輝く先生方



文部科学大臣表彰	長崎三男先生	住之江区	平林小学校
大阪市市民表彰	林昭典先生	生野区	東小路小学校
永年勤続表彰	釜谷晋平先生	鶴見区	鶴見小学校
	藤井章司先生	福島区	野田小学校
	西平守彦先生	大正区	泉尾工業高等学校
	廣石憲一先生	天王寺区	真田山小学校
	片岡光太郎先生	淀川区	野中中学校
	堀浩樹先生	東淀川区	啓発小学校
	岩本奈里子先生	旭区	城北小学校
	尾崎均先生	城東区	嶋野小学校
	柳本成一先生	城東区	放出中学校
	大草修先生	鶴見区	茨田南小学校
	安井久好先生	鶴見区	茨田西小学校
	堀口則夫先生	鶴見区	汎愛高等学校
	藏満寛司先生	住之江区	加賀屋東小学校
	細井栄二先生	住之江区	新北島中学校
	杉山幸三郎先生	住之江区	粉浜幼稚園
日本学校歯科医会会長表彰	中谷勝先生	北区北	菅南幼稚園
	普光江暁先生	西淀川区	大和田幼稚園
	藤野康德先生	淀川区	新北野中学校
	寺前雅章先生	東住吉区	矢田東小学校
	鍬形充理先生	西成区	梅南津守小学校
古稀の御祝い	吉見正樹先生	都島区	友渕小学校(分校)
	寺尾俊明先生	西淀川区	淀中学校
	辻本研二先生	東淀川区	菅原小学校
	赤尾英夫先生	旭区	古市小学校
	福本和夫先生	城東区	城陽中学校
	柳本成一先生	城東区	放出中学校
	中辻薫先生	鶴見区	みどり小学校
	野村善一先生	鶴見区	鶴見南小学校
	浅井良英先生	阿倍野区	晴明丘南小学校
	増井裕先生	東住吉区	矢田西小学校

会務報告

(R1.7.1 ~ R2.1.31)

- 7月4日(木) 子どもの歯を守る懇談会(築港小学校)
7月4日(木) 第4回 理事会/市学歯理事歓送迎会・慰労会(天王殿)
7月6日(土) 第1回 学術部会(リアライブ)
7月11日(木) 第3回 広報部会/第3回 管理部会(分室)
7月18日(木) 第4回 広報部会(分室)
7月19日(金) 大阪市学校保健会常任理事・理事会/定時総会(大阪府医師会館)
7月25日(木) 第41回 近畿学校保健連絡協議会(兵庫県民会館けんみんホール)
8月1日(木) 文部科学省補助事業就学時の健康診断研修会(大阪市中央公会堂)
8月3日(土) 第5回 移動理事会(芝苑)
8月9日(金) 学校保健総合支援事業協議会(大阪市役所)
8月13日(月) 第7回 歯・口の健康づくり研修会会場設営・打合せ(府歯 大ホール)
8月20日(月) 大阪口腔衛生協会 評議員会(府歯大ホール)
8月22日(木) 第7回 歯・口の健康づくり研修会(府歯 大ホール)
8月31日(土) 第43回 近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会(ホテルアパローム紀の国)
9月5日(木) 歯・口の健康に関する凶画・ポスター、標語コンクール審査会(大阪市役所)
9月5日(木) 学校歯科室員会(府歯 第6会議室)/第1回大阪府学校歯科連合会(府歯 第3会議室)
9月12日(木) 第6回 理事会(リアライブ)
9月14日(土) 社会見学会(大阪市立阿倍野防災センター「あべのタスカル」)
9月16日(日) 学校歯科医生涯研修制度「専門研修」保健管理(日歯会館)
10月2日(水) 日学歯 第98回臨時総会(T K P市ヶ谷ビル)
10月3日(木) 第7回 理事会(府歯 第6会議室)
10月10日(木) 日本医師会総合政策研究機構(日医総研)主席研究員上家和本先生・西本会長面談(府歯 役員室)
10月17日(木) 第83回 全国学校歯科保健研究大会(山口県)~18日まで
10月17日(木) 子どもの歯を守る懇談会(中央高等学校)
10月26日(土) 第2回 支部長会(府歯 第6会議室)
10月30日(水) 子どもの歯を守る懇談会(市岡東中学校)
10月30日(水) 子どもの歯を守る懇談会(梅南中学校)
10月31日(木) 学校歯科保健連絡協議会(ホテルアウィーナ大阪)
11月7日(木) 子どもの歯を守る懇談会(桃陽小学校)
11月8日(金) 歯・口の健康に関する凶画・ポスター、標語展示(中央図書館)~20日まで
11月9日(土) 大阪二学歯連絡協議会(ザ・ランドマークスクエア大阪)
11月14日(木) 第8回 理事会(府歯 第6会議室)
11月21日(木) 子どもの歯を守る懇談会(都島小学校)
11月21日(木) 第69回 全国学校歯科医協議会/全国学校保健・安全研究大会(埼玉県)
11月22日(金) 全国学校保健・安全研究大会(埼玉県)
11月27日(水) 日学歯学術委員会(日歯会館)
11月28日(木) 第5回 広報部会(分室)
11月28日(木) よい歯の学校・幼稚園表彰審査会(府歯 第6会議室)
12月7日(土) 会員研修会(大阪歯科大学創立100周年記念館)
12月12日(木) 第6回 広報部会(分室)
12月14日(土) マウスガード講習会(附属衛生士専門学校実験室)
12月19日(木) 第9回 理事会(天王殿)
12月19日(木) 子どもの歯を守る懇談会(白鷺中学校)
- 令和2年
1月9日(木) 中学校養護教諭対象の研修会(大阪市教育センター)
1月9日(木) 第7回 広報部会(分室)
1月16日(木) 第8回 広報部会(分室)
1月16日(木) 第1回 大阪市学校歯科保健研究大会 実行委員会
1月16日(木) 常務理事会
1月21日(火) 子どもの歯を守る懇談会(生野工業高等学校)
1月23日(木) 第10回 理事会/新年互礼会並びに受賞祝賀会(ホテル日航大阪)

学校歯科保健教材器具貸出 申込書

校 園 名 _____

学校歯科医名 _____

1. 貸出器具に○と個数をご記入ください。

貸出有無	器 材 名	商 品 名	無償支給	個 数
	位相差顕微鏡	ペリオスコープ	—	貸出は1台のみ
		バクテリア・セルフチェッカー『見る菌』	—	貸出は1台のみ
	咬合力計	オクルーザルフォースメーター	—	貸出は1台のみ
		ディスポーザブルキャップ	20個	個
	お口の万歩計	かみかみセンサー	—	Sサイズ 台
			—	Mサイズ 台
	顎 模 型	歯みがきじょーずくん	—	貸出は1台のみ
		歯みがき指導用模型	—	貸出は1台のみ
	歯みがき圧測定器	歯みがき圧指導器	—	貸出は1台のみ
	糖 度 計	ATAGO ベン糖度・濃度計 PEN-J PEN-1ST	—	貸出は2台
	pH 計	ATAGO DIGITAL pH METER	—	貸出は1台のみ
	ガ ム	キシリトール入り咀嚼力判定ガム	20個	個
	りっぷるくん	口唇閉鎖力測定器	—	貸出は1台のみ
	りっぷるボタン		10個	個
	健口くん	口腔機能測定器	—	貸出は1台のみ

2. 貸出希望日 ※貸出期間は1週間をお願い致します。

貸出希望 令和 年 月 日～令和 年 月 日(返却)

3. 貸出・返却方法

- ・教材器具を貸出希望される学校は、事前に電話にて事務局に貸出状況をお問合せください。そして、この用紙にご記入の上、市学歯へFAXにてお申し込みください。

FAX : 6774-0488

- ・貸出は、市学歯事務局まで取りに来ていただくか、または、市学歯から貸出日までに宅配致します。
- ・返却は、事務局へお持ちいただくか、宅配でも結構です。

4. 注意事項

- ・咬合力計のディスポーザブルキャップは、測定する児童生徒の人数分の個数を記入してください。

咬合力計で使用する「ディスポーザブルキャップ 20個」、「咀嚼力判定ガム 20個」、
口唇力測定器で使用する「りっぷるボタン 10個」無償支給いたします。

ディスポーザブルキャップ：1個×46円 咀嚼力判定ガム：1個×116円

りっぷるボタン：1個×80円

それ以上の個数が必要な場合は有償支給となりますので、ご了承ください。

- ・かみかみセンサーは小学校低学年用のSサイズ、小学校高学年以上のMサイズとも5台まで貸出できます。
- ・それぞれの器材の付属品や備品は無くさないように返却をお願い致します。

5. 担当者連絡先

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-27 大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会 事務局 伊牟田 裕加 ☎6772-8362

お知らせ

- 1 令和元年度 第60回大阪市学校歯科保健研究大会
日 時 令和2年2月13日(木)午後2時～5時
場 所 大阪府歯科医師会館 大ホール
内 容 長崎県佐世保市立広田小学校教諭 福田泰三先生の講演会
- 2 令和元年度 臨時総会
日 時 令和2年3月26日(木)午後2時～
場 所 大阪府歯科医師会館 第6会議室
- 3 令和元年度 新任学校歯科医・基礎研修会
日 時 令和2年4月9日(木)午後2時～
場 所 大阪府歯科医師会館 第6会議室

市学歯ホームページ更新情報

- 1 2月23日 マウスガード講習会をアップロードしました。
- 1 2月16日 会員研修会を更新しました。
- 1 2月 6日 全国学校保健安全大会を更新しました。
- 1 1月26日 図画ポスター標語入賞作品を更新しました。
- 1 1月26日 大阪二学歯連絡協議会を更新しました。
- 1 1月25日 学校歯科保健連絡協議会を更新しました。
- 1 0月29日 第83回 全国学校歯科医研究大会をアップロードしました。
- 9月17日 第7回 歯・口の健康づくり研修会をアップロードしました。
- 9月17日 令和元年度社会見学会をアップロードしました。
- 9月 3日 近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会を更新しました。
- 7月30日 会報第177号をアップロードしました。
- 7月18日 会員報告書2を更新しました。
- 7月16日 会長挨拶、役員紹介、役員名簿を更新しました。

編集後記

令和元年は皆さんにとってどんな年でしたか？改元に伴う様々な皇室行事もテレビを通して垣間見えました。悠久の日本の歴史とその重みを感じることが出来ました。市学歯では、令和元年度定時総会におきまして、理事・監事の改選が行われ、その後の臨時理事会で理事の互選により、西本達哉先生が岡本卓士先生の後任の会長に選任されました。理事の担当部署も刷新されました。会長挨拶にもありますが、理事一同、事務局と共にONE TEAMで大阪市の子どもの歯科保健の向上に努めます。何卒、西本執行部にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

広報に関しましては、今までお世話になっていた印刷所が廃業されましたので、今号の会報より印刷所が変更となりました。元々、前号までの会報や会員名簿の版下作成を担当していた印刷所ですので、装丁や構成は従来通りに仕上げる事が出来ました。全ページにお目通しいただければ

幸いです。

本年は、東京オリンピック・パラリンピックが56年ぶりに開催されます。メインスタジアムの新国立競技場は見事に完成しましたが、設計の急遽変更やその巨額の建設費が大きな問題となりました。また開催まで一年を切った昨年10月に、突然マラソンと競歩の開催地が札幌へ変更になったりと心配の種は尽きませんでした。とはいえ、どんな感動シーンが見られるかとても楽しみです。皆さんにとって良い一年になることを心よりお祈り致します。

(Y・U)

第178号 令和2年1月31日 発行
発行所

〒543-0033

大阪市天王寺区堂ヶ芝町1-3-27

大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会

広報部

電話 大阪(6772) 8362

DVDで参加する歯みがき大会

第77回

全国小学生 歯みがき大会

「全国小学生歯みがき大会」は
小学生に歯と口の健康に関する“気づき”を与え
健康意識を育むことを目的に、
毎年「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」にあわせて
開催しています。

大会では歯と口の健康について学び、
将来の自分のために望ましい生活習慣を
身につけることの大切さ、その習慣を継続することが
大きな力となることの理解を図ってまいります。

開催概要

大会期間	2020年6月1日(月)～10日(水)
参加対象	小学校5年生 ※4年生・6年生でも参加いただけます。 ※いずれか1学年の参加となります。
申込期間	2020年1月6日(月)10:00～2月28日(金)24:00まで
参加費用	無料 ※使用する教材（児童用ドリル、歯ブラシ、デンタルフロスなど）も無償で提供します。
定員	4,700校/270,000人（先着順）
主催	(一社)日本学校歯科医会 (一財)東京都学校保健会 ライオン株式会社 (公財)ライオン歯科衛生研究所
後援	文部科学省 東京都教育委員会 (公財)日本学校保健会 (公社)日本歯科医師会 (公社)東京都歯科医師会 (公社)東京都学校歯科医会 (公社)日本歯科衛生士会
問合せ先	第77回全国小学生歯みがき大会事務局 2020年1月6日(月)～6月30日(火) ※平日9:00～17:00 Mail : contact@hamigakitaikai.net TEL : 0120-253-641 H P : https://www.lion-dent-health.or.jp/